

イキイキ☆さぬきごびと

Vol.1
2025.4

さぬき市でイキイキと働いたり、暮らしている人たちを紹介します。

「時の納屋」とは：地元の食材を使ったメニューを提供するカフェスペースを備えた施設です

■お仕事は？

去年大串にオープンしたカフェ「時の納屋」にたくさんの人々に来てもらえるよう、調理、商品開発、イベント企画など、運営全般を担っています。



■「時の納屋」の所長になる前はどんな仕事をしていたのですか？

市役所の職員として長年勤めてきました。道路や川の工事、ポンプ場の設計、災害復旧などいろいろな仕事をしました。

■そこから、カフェ運営のお仕事に！

大きなキャリアチェンジ（職種変更）ですね！

元々料理やお菓子作りは好きだったんです。作ったものをプレゼントするとすごく喜んでもらえて、それからハマつてしましました。友人に頼まれて料理教室を開いたり、ホールケーキを作つてプレゼントしたりもしていました。

■オープンまでには大変な苦労があつたのでは？

実は、計画当初は軽食を提供するだけの予定だつたんです。しかし、それだけではダメだと思いました。大串は決して利便性のいい場所ではありません。初めは景色を見に人が集まるかも知れませんが、それだけでは二回目は来てもらえません。ここでしか味わえないものを提供する必要がある、と思いました。



例えば牛すじカレーには、地元の食材やさぬきワイナリーのワインを使って試行錯誤の末、完成しました。飲み物にもこだわっています。

他にも、衛生管理士の資格を取りに行ったり、一日百食以上の料理の仕込みが深夜にまで及んだり、全て一からのスタートだったのです。



■ご自身をどんな性格だと思いますか？

何でも夢中になって、それしか見えなくなるタイプです。趣味で作ったケーキをみんなが「おいしい」と食べてくれたら、「もっと喜んでもらいたい！」次はこんなことにチャレンジしようとアイデアが浮かんで、改良を重ねていったんです。そういうしているうちに、気づいたらカフェの所長になっていました（笑）

■お菓子作りはいつ始めたんですか？

実は、大人になつてからなんです。元々は運動が好きで、子どもの頃は野球、大人になつてからはトライアスロンをしていました。でも、仕事が忙しくなり、なかなか外で練習する時間が取れない中で、家にいてもできることはないか、と考えていたとき、またまお菓子を作つてプレゼントしたら喜んでもらえたのが始まりです。

■ほめられて伸びるタイプ？

どんなことでもほめ言葉は素直に受け取ります。たとえば「絵がうまいね」と人から言われると嬉しくなって、「さらにうまくなりたい」と（笑）。

中学の時は野球部でしたが、秋になると美術部員として絵を描いて文化祭に出展していました。体を動かすのも細かい作業をするのも好きなんですね。

細かい作業が好きだからお菓子作りにもハマつたんですね！スポーツの経験が役立っていることは何がありますか？

ありますよ。スポーツをしているいろんな仲間ができるんです。

実は一人でホノルルマラソンに出たこともありますよ。そこで知り合った人が他県からわざわざ「時の納屋」までケーキを買いに来てくれたこともありました。スポーツを通して人脈が広がつていきました。



■最後にさぬき市の子どもたちにメッセージをお願いします。

周囲からの決めつけや自分の中の思い込みにとらわれず、自分の心に正直に好きなことを一生懸命やっていくてもらえたなら、と思います。何でもいいんです。全然関係ないようなことで、いろいろやってみるといいと思います。どうか自分を信じて、あきらめずにチャレンジしてほしいです。

これから無限に広がる可能性にワクワクしているという満濃さん。
大串に遊びに行ったときにはぜひ声をかけてみてくださいね。

■「夢中」「人とのつながり」が満濃さんのキー ワードですね！

そうですね。私自身、好きなこと、夢中になれることを一生懸命やついたら、いつの間にか歯車がかみ合って夢が叶う、という経験を

